



# しがレクからのおたより

Smile  
for all

令和5年度 第1号 2023年5月発行

滋賀県レクリエーション協会 事務局 発行

送信・返信先 〒525-0052 滋賀県草津市西矢倉 3-17-13 黒川かず江方

## 就任のご挨拶

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてお越しのこととお喜び申し上げます。

さて、私、前山亨前会長の後を受け継ぎ、会長を引き受けることになりました。皆様のお力添えをいただきながら、当協会の運営を推進していきたいと思っておりますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

ところで、新型コロナウイルス感染症は感染症分類で5類となり、自粛ムードから解放されて、人々の交流活動等も活発になってきていきます。それに伴いレクリエーション指導者の活躍の機会も増えていくものと考えます。

アフターコロナにおいては、3年間途切れてきた人と人をつなぎ、誰もがいきいきと元気になるよう、私たちからレクリエーションが必要な方、必要とされる方に積極的に働きかける取り組みが必要と考えています。

まずは、自らがいきいきと過ごしていきましょう。



会長 寺村 義伸

## 令和5年度 理事・評議員会終了

令和5年5月14日に草津市立市民総合交流センター（キラリエ草津）におきまして、理事・評議員会が開催され、昨年度の事業報告・決算報告、役員改選、今年度の事業計画ならびに予算案などが可決・承認されました。

令和5年度事業の中では特に、昨年度参加申し込みが少なく実施できなかった学校レクリエーション講習会について、今年度は出前講座という形で実施することになりました。また、レク・インストラクター養成講習会も昨年同様に、滋賀県レクリエーション大会は11月7日（予備日は11月14日）に滋賀県マレットゴルフ協会さんとの共催で実施することも決まりました。

改めて、皆さんの協力及び参画により協会運営を進めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。なお、龍谷大学の学生の皆さんにも、引き続き広報を中心に協会の事業にも協力いただけるということです。爽やかな風を吹き込んでいただきますようよろしくお願い致します。

また、本年度は役員改選がおこなわれ、下記の通りの体制で活動していくことになりました。皆様のご協力のほど、よろしくお願い致します。

理事長・事務局長 溝江 透

## 令和5年度・令和6年度 役員

名誉会長 奥村展三 顧問 前山 亨（新任）  
会長 寺村義伸（新任） 副会長 二宮 保・坂田 義治（新任）  
理事長 溝江 透 副理事長 小野澤稔香・前山 直（新任）  
事務局長 溝江 透（兼任） 事務局次長 黒川かず江  
事業部 二宮 保・坂田 義治・田中智也（新任）  
組織部 西條智晴・前山 直・市川梢恵  
広報部 久保和之・小嶋里美・戸簾紗弥香（新任）  
学校レクリエーション担当 小野澤稔香・河西正博・千葉正樹  
課程認定校担当 中野友博

## フォローアップセミナーのお知らせ

本年度もフォローアップセミナー兼ニュー・スポーツセミナーを開催します。6月11日（日）に長浜・伊香ツインアリーナで開催されます。今回は、ニュースポーツについて学びます。

数あるニュースポーツのうち、モルック、クップ、シャフルボードなどを体験します。モルックは、木片を数字が書かれたターゲットの丸棒めがけて投げて倒し、その数字や本数の得点を合計していくゲームです。ただ単に多くの棒を倒せばよいわけではなく、効率よく計算して投げるのが求められます。しかし、計算通りに行かないところがこのゲームの面白さです。クップもモルックと同様に木片でターゲットを狙って投げ倒すゲームです。北欧のバイキングたちが燃料用の薪を投げて遊んだのが始まりと言われています。シャフルボードは、キューという棒でコート上の円盤を押して得点エリアに置くゲームです。対戦型のゲームで1チームは4枚のディスクを使います。相手チームと交互にディスクを押していき、最終的に得点エリアに残ったディスクで得点を付けて行きます。人気アイドルの某TV番組で改良されたゲームが紹介されていました。

この講習会は、県民の皆様幅広くニュースポーツの楽しさを伝えるために実施していますので、身近なお知り合いと気楽にご参加ください。県レク会員の方は、フォローアップセミナーとして開催いたしますので、受講料が免除となります。

日時：令和5年6月11日（日） 10：00～16：00

講師：二宮 保（滋賀県レク協会副会長）

内容：ニュースポーツ（モルック、クップ、シャフルボードなど）

場所：長浜・伊香ツインアリーナ



## 令和4年度第2回フォローアップセミナー終了しました

令和5年2月25日（土） 大津市堅田市民センターにて 講師に前山亨会長を迎え、折り紙で『連鶴』の数々を教えて頂きました。初めは「楽々波 さざなみ」を折り始めましたが、中々難しく、切り込みを間違えて「風車 かざぐるま」に仕上がったり、四羽のうちの最後の一羽を折っているところで、ちぎれてしまったりと悪戦苦闘しましたが、「四ツの袖 よつのそで」まで挑戦される方がいる頃には、段々と慣れてきて、どうにかそれぞれの連鶴を完成させました。

そのあとは、お菓子を入れたり、小物を入れたりできる、「美しい小箱」を教えて頂きました。こちらは簡単に折ることができ、素敵な小箱に仕上がったので、参加者の方々は幾つも色違いの箱を作り上げました。今回は、指先も頭も使った折り紙を堪能した1日でした。

(西條 智晴)



## 活動中の指導者紹介

た  
今後理事として一翼を担ったのでレクリエーション活動の発展に、精進する覚悟でおり一人でも多くの笑顔が見られるよう邁進してまいります。レクリエーション運動について無知な部分が多く、日々勉強ではございますがよろしくお願いいたします。

# 滋賀県レクリエーション協会の活動を振り返る

顧問 前山 亨

## 会長職を辞するにあたって

今、会長職を辞して改めて県レクとのかかわりを思い起こしてみますと、なんと50余年にわたって協会の中核的な席につかせていただいて、さらに15年間は、滋賀県レクリエーション協会会長という重責を果たしてまいりました。

その間にはコロナウイルスによる厳しい現実を経験するなど、会員諸氏とのコミュニケーションの場はほとんどなく、会長としては大変厳しい数年でした。

日レクからも進められている県レクの法人化や県下のすべての市町にレク協会を設立するという願いを果たすことができなかったのは非常に残念なことです。

新会長のもと、一日も早くこれらの課題解決に向けて会員の積極的な行動を期待したいと思います。県レク協会が会員相互のコミュニケーションを図り、互いに助け合える組織となることを切に望みます。レクリエーションはまだマイナーな活動であり、県民の多くが「心の健康」に向け期待を持っているにもかかわらず、その期待に応えることもできず、レクリエーションの場を活性化することもできていません。

滋賀レク協会の会員はインストラクターやコーディネーターといったレクリエーション指導者によって構成されているにもかかわらず、ほとんどの会員が顔を合わせることもできていません。研修の場も設定してはいますが、集まっていただけなのは10人そこそこといったところで、会員同士が互いに手を結び、活動する機会は皆無といった状況です。

今日の社会は核家族化が進み、さらに高齢社会となっています。県民の期待に沿うとは、高齢者へのレク支援が中心になると思われます。すなわち高齢者同士の交流や高齢者と異世代の交流など幅広く活動することが大切です。

また少子化が進む中で、子供たちをいじめ、虐待から守る社会づくりが大切です。

レクリエーションはコミュニケーションの場づくりであり、活動を通して手をつなぎあい互いに笑顔で生活できる場、すなわち『県民の心の健康』づくりを私たちが率先して構築していきたいものです。

会員諸氏の力を結集して、「笑顔あふれる滋賀県」づくりに邁進していただければと切に願っています。そのためには、まず互いの出会いの場を確保し、みんなで集まることが楽しいものとなるように工夫していくことが大切です。多くの研修が技術優先となりやすいのですが、心と心をつなぐ研修こそが大切であると思います。

～～まず会員同士で楽しもうよ～～